



## 平成 28 年度 施政方針

平成28年かすみがうら市議会第1回定例会において、坪井市長が平成28年度の市政運営に対する施策概要を述べました。今回は、平成28年度のまちづくりへの取り組みを紹介いたします。(抜粋)



かすみがうら市 施政方針

施政方針の全文は市ホームページでご覧いただけます

図 政策経営課(千代田庁舎)

### 「自然と調和した快適なまちづくり」

**神立駅周辺整備**  
JR神立駅を中心とした都市的機能の充実化・活性化を図るため、駅の橋上化をはじめとした神立駅周辺整備事業や街路整備事業を進めており、平成28年度から本格的な工事に着手します。

**道路整備**  
土浦協同病院へのアクセス道路の整備を引き続き進めます。

**公共交通**  
快適な地域交通環境を形成していくために、地域の特性やニーズを踏ま

### 防災の強化

えた地域交通の充実を図ります。地域に根差した防災体制の構築をさらに促進するため、市民を交えた防災訓練を実施するほか、自主防災組織の結成促進や防災士の育成に引き続き取り組むとともに、土砂災害ハザードマップの作成、さらには老朽化した霞ヶ浦地区の防災無線の更新・デジタル化に着手し、市民の安全な暮らしを支える災害に強いまちづくりを進めます。

**ごみ処理**  
ごみの減量化・分別によりリサイクルを推進していくとともに、広域連携による一般廃棄物処理に取り組み

### 「健やか・安心・思いやりのまちづくり」

子育て・福祉・介護サービス市民誰もが心身ともに健やかで安心した生活を送れるよう、サービスなどの充実を図ります。

**保健・医療**  
任意予防接種では、引き続き65歳以上の方を対象に高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部を助成します。

**少子化対策**  
県の助成事業に上乗せして助成し、不妊に悩む市民の方の経済的な負担の軽減を図ります。

### 国民健康保険

収納率の向上、ジェネリック医薬品の使用促進や重複・頻回受診者に対する適正受診指導などにより医療費の適正化に努め、国保財政の健全化を図ります。

**健康づくりを推進**  
市民一人ひとりが生涯にわたり健康で豊かな生活を送れるよう「健康づくり計画」を策定するほか、医療機関と連携を図りながら健康づくりに関する各種事業に取り組みます。

**介護保険**  
各種の介護サービスをはじめ、生活支援・介護予防サービスを継続的に提供し、地域で支え合うための地域

### 「豊かな学びと創造のまちづくり」

**学校支援**  
霞ヶ浦地区の小学校統合により、通学面ではスクールバス運行により児童の負担軽減を図るほか、学校生活面においても、児童・保護者が安心して学校生活を送れるよう、両小学校にTT非常勤講師を配置するなどサポート体制の充実に努めます。

**学校整備**  
小学校統合に伴う給食室の整備の

### 「活力ある産業を育てるまちづくり」

ほか、平成27年度からの継続事業として下稻吉小学校の整備を実施します。

**公民館活動**  
地域の特性を活かしながら、地域の自主性・独自性を尊重した「コミュニティづくり」を目的に、新たに中学校単位の公民館組織を立ち上げ、学習や集会などを実施することで、地域住民の生きがいづくり、生涯学習の充実を図ります。

**特産品**  
新たな取り組みとして、首都圏の食材サロンで本市が誇る農水産物を提供するすることで、新たな需要喚起を図ります。

**観光誘客**  
首都圏や茨城空港、成田空港からのアクセスの良さ、霞ヶ浦、筑波山、あるいは「食」といった魅力ある地域資源を最大限活かし、観光交流人口

### 「みんなでつくる連携と協働のまちづくり」

の増加に取り組みます。

**観光振興**  
交流センターを活動拠点に、市の活性化を目的とした法人の設立を検討します。

**筑波山地域ジオパーク構想**  
土浦市・つくば市・笠間市・桜川市・石岡市などの自治体のほか、筑波大学や産総研など関係機関と連携し、平成28年度の正式認定に向け、引き続き取り組みます。

**消費者行政**  
市民の安心・安全な消費生活を実現するため、今後も継続的に取り組めます。

### 「みんなでつくる連携と協働のまちづくり」

市民自らの創意と工夫にあふれた自主的・主体的なまちづくり活動を支援します。また、市民と行政がパートナーよくまちづくりに関わり、共に協力して、特に社会全体で支え創る「共助」と「共創」によるまちづくりを

### 第2次総合計画

進めることで、本市の価値を高め、「みんなの笑顔があふれる元気なまち」の実現に取り組みます。

**男女共同参画社会**  
市民や各種団体などと連携し男女共同参画社会の実現に向けた施策を引き続き推進するとともに、正しい知識と理解を深めるため小学校での出前授業を開催し、地域における意識啓発に努めます。

**広報・広聴活動**  
行政の情報を正確かつ迅速に伝達していくとともに、広く市民の声を聴取し、行政と市民が情報を共有するための情報提供に努めます。

**公共施設**  
適正配置などの具体的な方向性の整理を進め、道路・橋梁・上下水道などインフラ施設の維持・整備についても、計画的な管理運営を目指します。

## 社会全体で支え創る

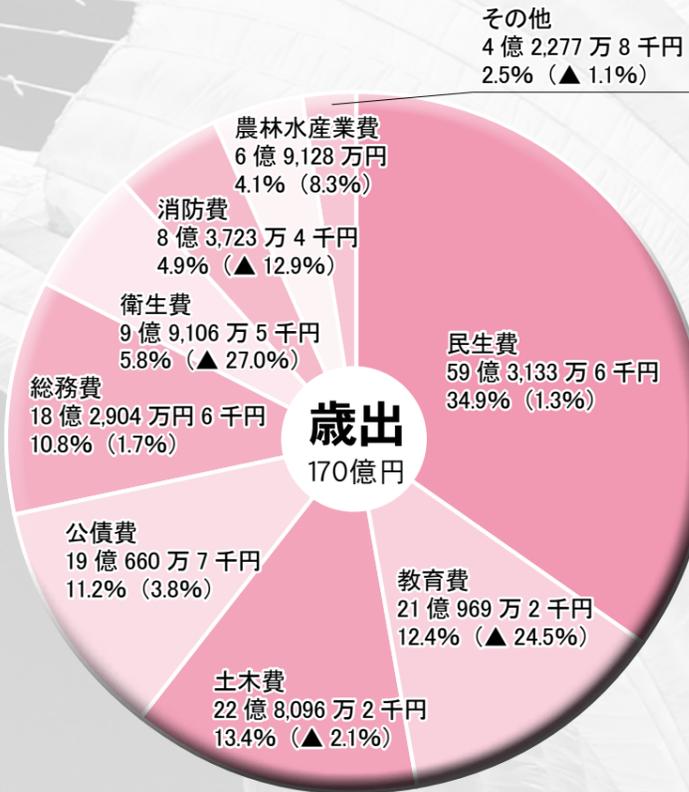
「共助」と「共創」によるまちづくり

# 一般会計歳出

## 【目的別歳出】

### [歳出予算概要]

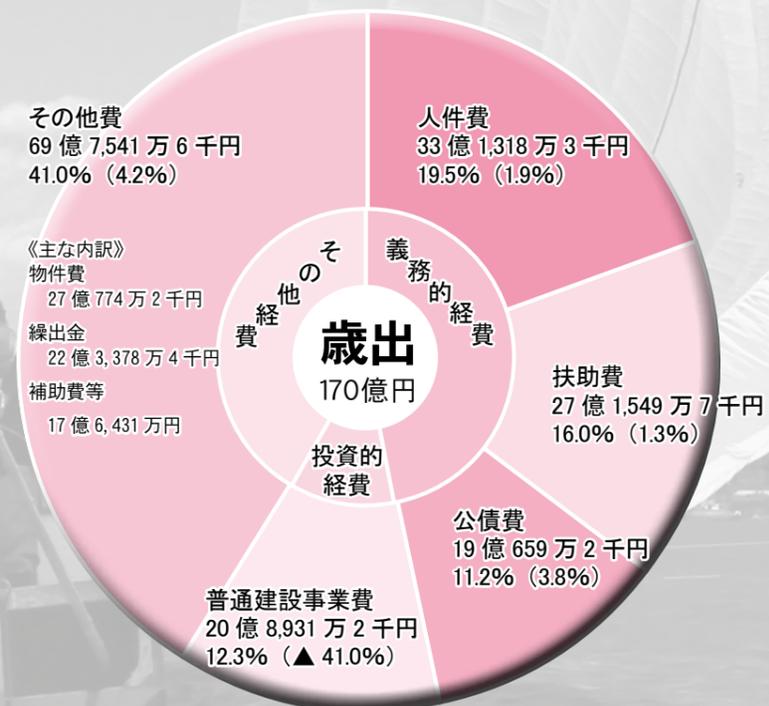
- ▶教育費は、公立小中学校に係る施設統合環境整備事業がおおむね終了したことなどにより、685,049千円、24.5%の減。
- ▶衛生費は、土浦協同病院新築事業補助金などがなくなったことにより、366,272千円、27.0%の減。
- ▶消防費は、消防団施設整備事業などの完了により、123,716千円、12.9%の減。
- ▶農林水産業費は、農地維持・資源向上対策事業や林業振興事業の増額などにより、53,207千円、8.3%の増。



# 一般会計予算総額 170億円

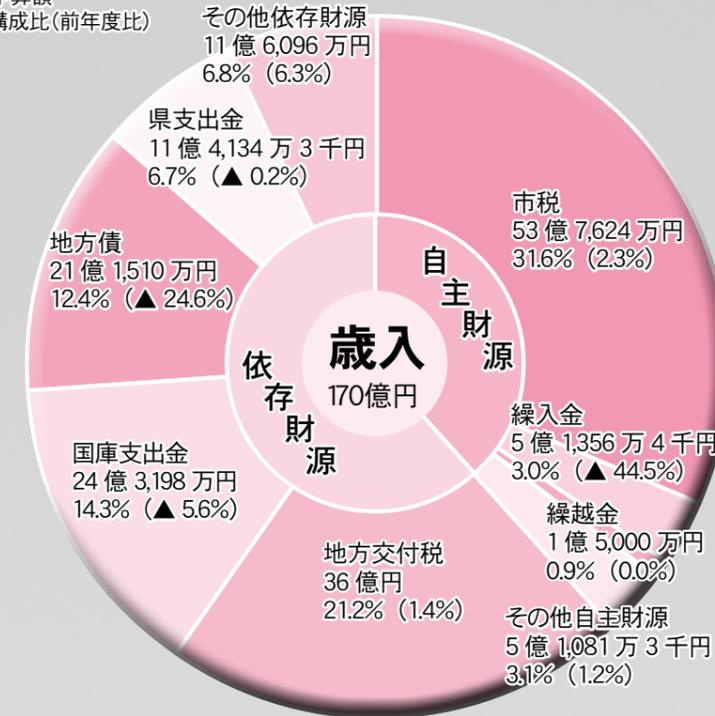
## 【性質別歳出】

- 義務的経費▶▶その支出が義務づけられ、任意に節約ができない経費(人件費、扶助費、公債費)
- 投資的経費▶▶道路や施設などの整備に使う経費(普通建設事業費、災害復旧費)
- その他経費▶▶上記以外の経費(物件費、補助費等、積立金など)



# 一般会計歳入

[グラフの表示]  
 ・区分  
 ・予算額  
 ・構成比(前年度比)



自主財源▶▶市が自主的に収入できる財源

依存財源▶▶国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源

### [歳入予算概要]

- ▶市税は、市民税や固定資産税の増収を見込み、122,999千円、2.3%の増。
- ▶地方消費税交付金は、消費税納付額の増加に伴い、58,258千円、9.2%の増。
- ▶地方債は、学校統合環境整備に係る合併特例債等、消防救急無線のデジタル化および消防団デジタル無線配備への緊急防災・減災事業債などに係る分の減に伴い、688,700千円、24.6%の減。
- ▶基金からの繰入金は、土浦協同病院建設支援事業補助金などに充てるものや、公立学校統合環境整備に係るものなどが減となり、411,961千円、44.5%の減。

特別会計	予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	56億 630万円	▲2.8%
後期高齢者医療特別会計	6億 7,530万円	4.4%
下水道事業特別会計	12億 680万円	7.4%
農業集落排水事業特別会計	4億 7,300万円	8.4%
介護保険特別会計	33億 2,980万円	3.6%

企業会計	予算額	前年度比
水道事業		
収益的収入	10億 3,728万 1千円	▲5.0%
収益的支出	10億 848万 2千円	▲2.6%
資本的収入	2億 5,695万 1千円	56.2%
資本的支出	5億 5,239万 8千円	18.9%

平成28年度

# 予算の概要

平成28年度当初予算編成については、「行財政改革の徹底」、「意識改革の実践」といった観点に立ち、事業の必要性や費用対効果について十分に精査し、限られた財源の重点的かつ効率的な予算編成に努めました。一般会計、特別会計を合わせた予算総額は287億9,120万円となり、前年度に比べ8億9,780万5千円、3.1%の減になりました。このうち一般会計は170億円で前年度に比べ10億円、5.6%の減となっています。

政策経営課財政担当千代田庁舎



かすみがうら市